

「太田小『4つの宝』を磨く」

～ 思いやりの心を大切に学び合い、安全で楽しく潤いのある学校 ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 基礎学力、基礎基本の定着を目指す。
- 算数科における応用力の向上を目指す。
- 家庭との連携をさらに図っていく。

＜本年度の学力向上策＞

- 1 基礎基本の定着
 - (1) 業前の「学力向上タイム」において、基礎基本（読み・書き・そろばん）の問題を中心に行う。
 - (2) 「基礎学力定着プログラムワークシート」等を、引続き活用していく。
 - (3) 家庭学習の習慣化を図るような、宿題等を学年で連携しながら出していく。
- 2 基礎学力の定着
 - (1) 話し合いや伝え合いを取入れた学習活動を進めていく。
 - (2) 「さいたま市の授業づくり」の冊子を活用し、4つの因子を意識した授業の実践を図っていく。
 - (3) 「学習状況調査」結果を分析し、本校の課題を明確化し、指導方法の工夫改善を図る。
- 3 算数科の応用力の向上
 - (1) 学習状況調査の結果を分析する。
 - (2) 学力向上タイムで重点的な課題克服への取組を行う。（「課題克服応援シート」等の活用）
 - (3) 4年生を重点的にした、少人数指導を実施していく。
- 4 家庭との連携
 - (1) 懇談会や「生活リズムがんばりカード」等を通じて、生活習慣と学力との相関関係を継続的に家庭に知らせていくとともに、「課題克服応援シート」等を紹介し、家庭との連携を図る。

＜本年度の振り返り＞

- 話し合いや、伝え合いを取り入れた学習活動を積極的に取り入れたことにより、「話すこと・聞くこと」領域において昨年度の自校の結果より平均4ポイント伸びが見られた。
- 4年生を重点的にした少人数指導を実施したことにより、児童の実態に応じた指導や支援を効果的に行うことができた。
- 児童の基礎基本の定着をさらに深められるよう、学力向上タイムの質の向上を図っていきたい。
- 生活習慣カードや懇談会等を通して、生活習慣と学力との相関関係を継続的に家庭に知らせていくと共に、「課題克服応援シート」や「学びのQR」等を紹介し、家庭との連携を図っていく。